

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	有限会社ヤマト・R I N	事業所名	看護小規模多機能ケア めくもり
所在地	(〒671-1213) 勝原区宮田 190-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

看護小規模多機能へ移行し、いままで大切にしてきためくもりのある家庭的な雰囲気と庭つきの和室、一人ひとりの状況に合わせて可能な限り柔軟なサービスを提供していきたい。また看護多機能としてなじみの関係を大切にし、介護と看護が一体となった寄り添えるチームケアで、自宅療養される方の医療ニーズにも対応できる事業所を目指している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 1 月 15 日	従業者等自己評価 実施人数	(10) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 2 月 17 日	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (3 人) ☐ 市町村職員 (人) ☐ 地域包括支援センター職員 (1 人) ☐ 地域住民の代表者 (2 人) ☐ 利用者 (人) ☐ 利用者の家族 (1 人) ☐ 知見を有する者 (人) ☐ その他 (人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		新しい情報やいままでにない内容の研修の機会を確保していく。	・ICTを活用した情報共有の研修 ・業務効率化についての研修の実施	チャットツールを活用し情報が全員に迅速に伝わるようになり写真なども共有できるようになり効率化も図れた。
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	看護師と介護職員の連携を維持し看護師からの情報提供や提案、両職種間の情報の共有、両職種間によるアセスメントの実施により専門的なサービス提供を行う。	感染症対策、褥瘡予防、服薬管理などについて看護師からの研修を実施	感染症対策についての研修を実行した。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	現状実施しているケアマネジャー、看護職員、介護職員、他機関との連携を継続していく。	・対面でのカンファレンスへの参加 ・電話や文書等での連携継続 ・看護師間での連携強化 (チャットツールを活用した情報共有)	チャットツールを導入し情報共有の効率を図った。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域資源を積極的に把握し、地域住民と協働して活用し利用者の生活を支える。	・いきいき百歳体操への参加 ・地域の行事やイベントがあれば積極的に参加する。	いきいき百歳体操へ定期的に参加している。祭りなどの行事にも参加した。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		各利用者に添った計画を作成し目標達成を目指していくことを継続していく。	会議やミーティング、チャットツールでの情報共有を通して各利用者の状態を把握し計画に反映する。	会議やミーティング、チャットツールを利用して情報を共有し計画に反映することができた。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		おおよそできている。 チャットツール導入による情報共有の継続と課題への対応をしていきたい。 業務効率化を図っていきたい。	・引き続き法人内外での研修の機会の確保 ・チャットツールの効果的な活用 ・業務効率化の推進
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	おおよそできている。 現在おこなっている看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を継続したい。	看護師と介護職員の連携の維持・向上を目指し、情報共有の効率化、両職種間によるアセスメントの精度の向上を図っていく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	現状できることは実施できている。引き続き連携の維持と向上を図っていききたい	現状実施しているケアマネジャー、看護職員、介護職員、他機関との連携を継続し改善点があれば改善していく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域住民への啓発活動が不足している。	地域資源を積極的に把握し、地域住民と協働して利用者の生活を支える。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		おおよそできている。各利用者に添った計画を作成し目標達成を目指していくことを継続しながら取り組む。 向上できる部分は改善していききたい。	向上の余地がある部分を洗い出し、改善策と実施する。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	5	5	0	0		✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 以前の理念をベースに専門的介護と医療ケアをもって社会生活・心身の健康を支える看多機に合わせた理念を掲げている。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	5	5	2	0		✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 職員が見えるところに理念を掲げ、迷った時理念を確認し考え実践している。					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	4	6	3	0		✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	る	3 年の育成計画を作成しその年の全体のテーマを決め各職員の担当制で研修を実施している。					などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	3	6	1	0		✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	6	4	0	0		✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	2	5	3	0		✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くこと ができる就業環境の整備に 努めている	3	5	2	0		✓ 「職員が、安心して働くことので きる就業環境」の充足度を評価し ます ✓ 例えば、「職員の能力向上の支 援」、「精神的な負担の軽減のため の支援」、「労働時間への配慮」な どが考えられます
[具体的な状況・取組内容] 職員が安心して働くことができる雰囲気、チームワーク作り、業務内容等常に 考え、改善に努めている。定時の就業を 目指し時間外就業をなくしている。							
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、 随時更新を行うとともに、 必要に応じて職員間で迅速 に共有できるよう工夫され ている	5	5	0			✓ 「情報の随時の更新」と「職員間 で迅速に共有するための工夫」の 2つの視点から、充足度を評価し ます
[具体的な状況・取組内容] チャットツールや朝、夕のミーティング を通して、迅速に共有できるようにして いる。							
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者 等および職員の安全確保のため、事業所においてその 具体的な対策が講じられて いる	6	4	0	0		✓ 「各種の事故に対する予防・対 策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、 例えば「医療・ケア事故の予防・ 対策」、「交通安全」、「夜間訪問時 の防犯対策」、「個人情報保護」な
[具体的な状況・取組内容] ヒヤリハット報告や事故報告を行い迅速 に検討し対策をとった後、事業所の会議 と管理者会議でも再度検討し適正化を図 っている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		送迎時等危険な箇所がある場合は職員間で共有し注意するようにしている。					どが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	3	5	2	0		✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 災害マニュアルの作成、連絡網の作成、会議時に災害・火災時の避難場所の確認、研修時には搬送方法の実施指導を行っている。3日分の医療材料・水・食料・簡易トイレの確保を備えている。					
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	5	5	0	0		✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 家族等介護者や利用者の状況や自宅での日中・夜間の様子等初回面談時や利用開始後も随時聞くようにしている。 また途中で聞いた情報についてもミーティングや会議、チャットツールで共有している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							ントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	4	6	0	0		✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	5	5	0	0		✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	3	6	1	0		✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		る。					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の 予測と、リスク管理を踏ま えた計画が作成されている	3	6	1	0		✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を 評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される 看護小規模多機能型居宅介護に おいては、特に看護職による予後 予測などを踏まえて計画を作成 することが重要です
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 必要に応じて看護職の意見を伺い、予測 できるリスクを取り入れている。					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続 的なアセスメントにより、 利用者等の状況変化を早期 に把握し、計画への適宜反 映が行われている	3	6	1	0		✓ 「早期の把握」と「計画への適宜 反映」の2つの視点から、充足度 を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 入院後の状態変化はもちろん、日々のか かわりの中での変化を察知し適宜、見直 しを実施している。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度 に偏らないよう、適時適切 に利用者宅を訪問すること	3	5	2	0		✓ 「訪問による、家族等を含めた居 宅での生活状況の変化の継続的 な把握」という視点から、充足度
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 訪問や送迎時、家族への聞き取り等から					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	で、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	生活状況の変化を確認し把握している。					を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	3	6	1	0		✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 指示書のある利用者に関して報告書により情報が共有されている。 情報が必要と判断した時は、病院へ家族に付き添い直接情報を伝えている。 また、書面及び電話にて伝え相談することもある。							
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	3	6	1	0		✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 利用者が怪我や病気等の時には、処置、受診の判断を看護職が行い、その後の日常生活で注意すること等は介護職によって行われている。 例えば、湿疹ができた時に看護職に確認してもらい、受診しぬり薬が処方された							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ら、入浴時や訴え時に介護職が薬をぬり経過状況を看護職が確認する等。					応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	2	7	1	0	[具体的な状況・取組内容] 全体の会議や朝、夕方のミーティング等を通じて連携を図っている。また居宅サービス計画書や介護計画書を作成する時にも意見を聞いている。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	4	5	1	0	[具体的な状況・取組内容] 全体の会議や朝、夕方のミーティング等を通じて情報提供や提案を行っている。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	3	6	1	0	[具体的な状況・取組内容] 利用開始時に分かりやすく説明している。サービス利用時の注意事項を作成し説明している。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	7	1	0		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 必要に応じて、計画内容と留意点等説明し同意を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	7	1	0		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 直接分かりやすく説明している。またその都度相談にも応じている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	3	6	1	0		✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 家族に聞いたり、いままでの生活歴から希望や意向を把握し、サービス提供に反映している。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	3	5	1	0		✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 契約前や契約時または、退院時のカンファレンスの時に検討すべき状況を予め想定し利用者と相談共有している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	5	4	1	0		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
[具体的な状況・取組内容] 終末期についての同意書を作成し、適切な時期に家族の気持ちを配慮しながら、説明して記録に残している。							
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	4	5	1	0		✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
[具体的な状況・取組内容] 入院時や通院時に情報提供している。退院時のカンファレンスにも積極的に参加している。情報提供が難しい時は直接診察に同行して連携を図ったりしている。							
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	4	4	2	0		✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生す
[具体的な状況・取組内容] 全員ではないが必要に応じて緊急時の対応を主に看護師中心に、家族に付き添っ							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		て受診したり、指示書を届けたりする時 に主治医に相談、共有している。					る前の段階から予め対応方針等 を主治医等と相談・共有しておく ことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい て、急変時に即座に対応が 可能な体制が構築されてい る	3	5	2	0		✓ 「即座な対応が可能な体制の構 築」について、充足度を評価しま す
		[具体的な状況・取組内容] 急変時は看護師・介護士が家族・主治医 に連絡や相談に対応する体制をとってい る。また必要に応じて救急搬送をしてい る。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、 利用者のために必要と考え られる包括的なサポートに ついて、民生委員・地域包括 支援センター・市区町村職 員等への情報提供や提案が 行われている	1	6	3	0		✓ 「利用者のために必要となる、介 護保険外のサービスやインフォ ーマルサポート等を含めたケア の提供について、多職種とともに 検討・支援を行っていくなどの取 組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことが ない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や 町会長などの住民代表も対象で す
		[具体的な状況・取組内容] 運営推進会議に地域包括の方に参加して もらい「ほうかつだより」を紹介しても もらったり、民生委員や自治会の方には地 域の情報を聞いたりしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	1	5	4	0	[具体的な状況・取組内容] 特に運営推進会議の記録等の情報発信は 行なっていないが、議事録を作成し誰に でも見ることができ る状態である。	✓ 「誰でも見ることができ る方法 での情報発信」と「迅速な情報発 信」の2つの視点から、充足度を 評価します
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等につい て、正しい理解を広めるた め、地域住民向けの積極 的な啓発活動が行われてい る	0	4	6	0		[具体的な状況・取組内容] 運営推進会議を通して伝えている。
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介 護事業所の登録者以外を対 象とした訪問看護を積極 的に実施している	0	0	0	10	積極的に受け入れ地域の助 けとなって欲しい。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を 併せて受けている事業所」のみが 対象です。該当しない場合は、実 施状況欄は無記入で、[具体的な 状況・取組内容]欄に「指定なし」 と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問
		[具体的な状況・取組内容] 現在利用者がいない。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							看護」を実施していない場合、 場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	0	5	5	0		✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 夜間での痰吸引ができない為、時間を限 れば受け入れる体制がある。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とす る要介護者を受け入れるこ とができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	0	0	0	10		✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くで きていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 体制が整っていない					
37	○ 「看取り支援」を必要とす	2	8	0	0		✓ 「積極的な受け入れ」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 連携をとっている医師がおり積極的に受け入れ看取りを行っている。					充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	0	0	2	8	管理者と一部の者しか理解がないため全体で理解を深めてみては？	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39		1	8	1	0		✓ 「特定の集合住宅等に限定しな

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	○ サービスの提供エリアにつ いて、特定の集合住宅等に 限定せず、地域に対して積 極的にサービスを提供して いる	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 併設のサービス付高齢者住宅の方も何名 かいるが、姫路市在住の方であれば積極 的にサービスを提供している。					い、地域への積極的な展開」につ いて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、 特定の集合住宅等に限定するこ となく、地域全体の在宅療養を支 える核として機能していくこと が期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象と している場合は「全くできていな い」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地 域の関係者に対し、必要に 応じて課題提起や改善策の 提案等が行われている				10		✓ 「課題提起や改善策の提案等の 取組」について、その充足度を評 価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ て得た情報や知見、多様な関係者 とのネットワーク等を活用し、必 要となる保険外サービスやイン フォーマルサービスの開発・活用 等、利用者等のみでなく地域にお ける課題や改善策を関係者に対 して提案していくなどの役割も 期待されます ✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対		0	0	10		✓ 「家族等や近隣住民に対する、介

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	し、その介護力の引き出し や向上のための具体的な取 組等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 現在は特に行っていない。					介護力の引き出しや向上のための 取組」について、その充足度を評 価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣 住民の関わりを促しながら、関係 者全員の介護力を最大限に高め ることにより、在宅での療養生活 を支えていくための環境を整え ていくなどの役割も期待されま す ✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利 用者ごとの計画目標が達成 されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成され ている ②. 利用者の2/3くらいについて、達成さ れている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成さ れている 4. 利用者の1/3には満たない		✓ 「計画目標の達成」について、評価 します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>		
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看護師が訪問時や契約時に説明している。なにか不安がないか随時確認している。		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 看取りについて事前に家族との相談の場を持ち、希望や不安があるかを聞き書面でも説明し承諾をもらっている。また揺れ動く家族の気持ちも考慮し希望などは途中で変えられることも伝えている。		泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」